

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-1	中学校	国語科	書 写	第1・2・3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	書写 734	中学書写		

1. 編修の趣意及び留意点

1 編修の趣意

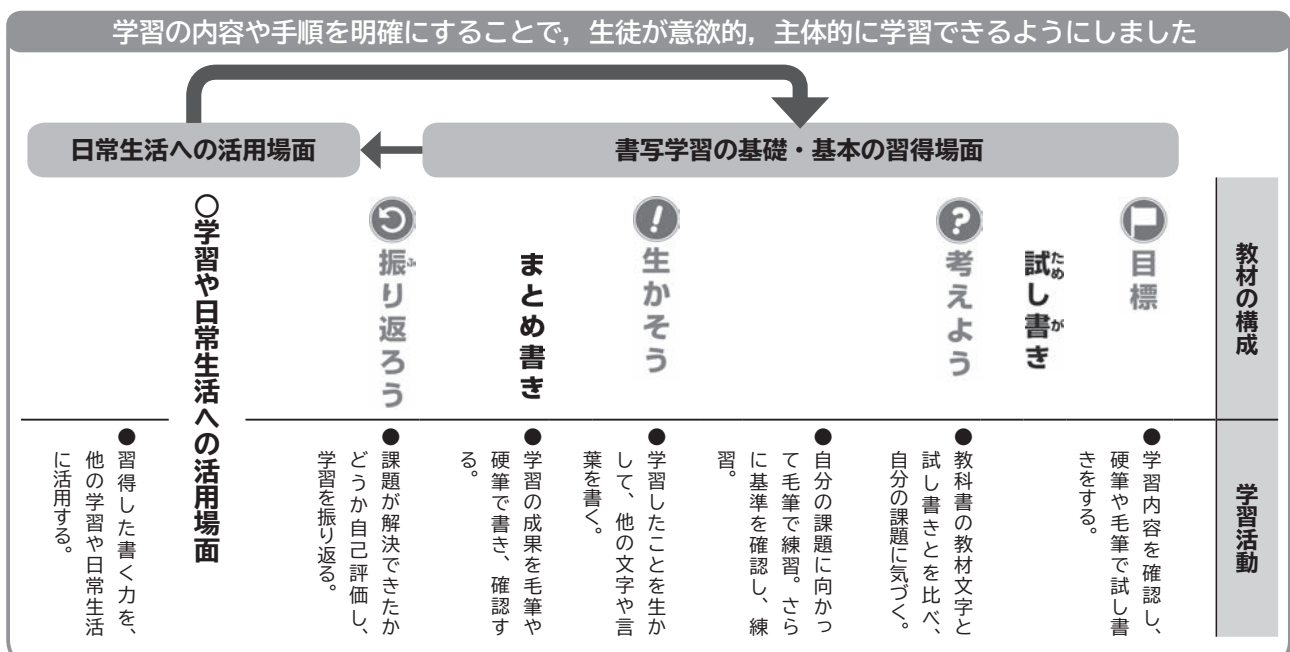
本書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条の第1～5号）」と中学校学習指導要領国語科の〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕に示されている指導内容を、実際の学習活動をとおして文字の関心を深め、文字を正しく整えて速く書く能力を高めながら、確かな書写力が育成できるよう編修・執筆しました。

特に、各单元においては、硬筆・毛筆との関連学習や系統的・段階的な学習が進められるように配慮し、日常の書写活動に生かすために必要な基礎的・基本的な能力を育成できるよう編修しました。

2 編修の留意点

①幅広い知識と教養を身につけられます。

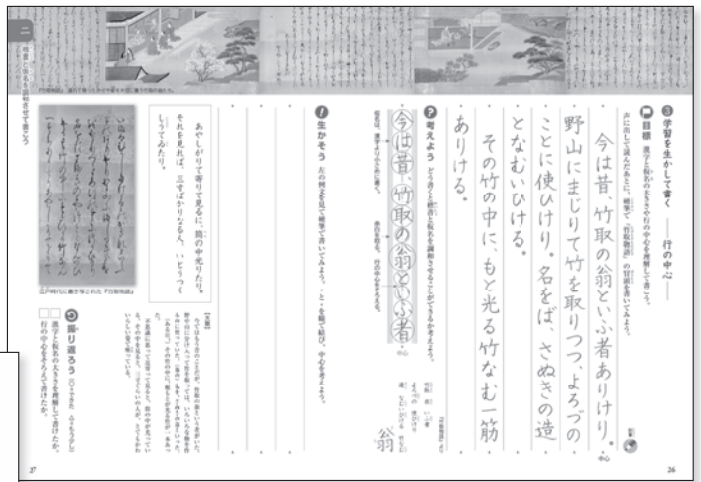
書写学習の基礎・基本をおさえ、確実に書く力を養い、学習や社会生活に活用できる力を養います。



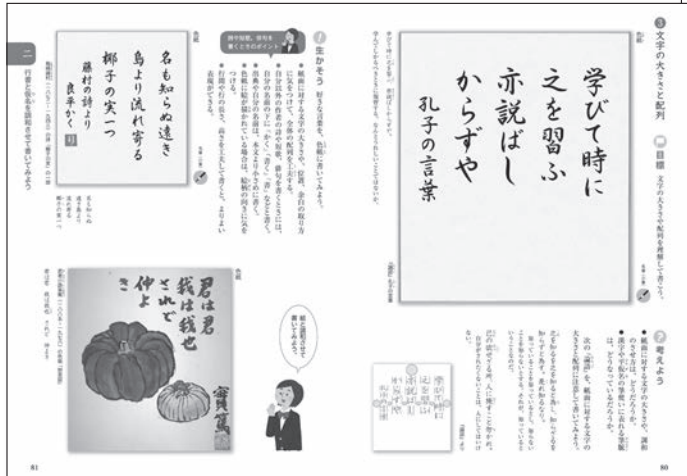
②伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心情を育てる。

各学年の硬筆教材は、伝統と文化を尊重し、我が国の郷土を愛する心情を育てられるよう配慮しました。

また、伝統的な書式の「色紙」「短冊」も適宜取り扱い、文化を尊重する態度を養えるよう配慮しました。



▲1年 p.26～27 「③学習を生かして書く」



▲2年 p.80～81 「③文字の大きさと配列」

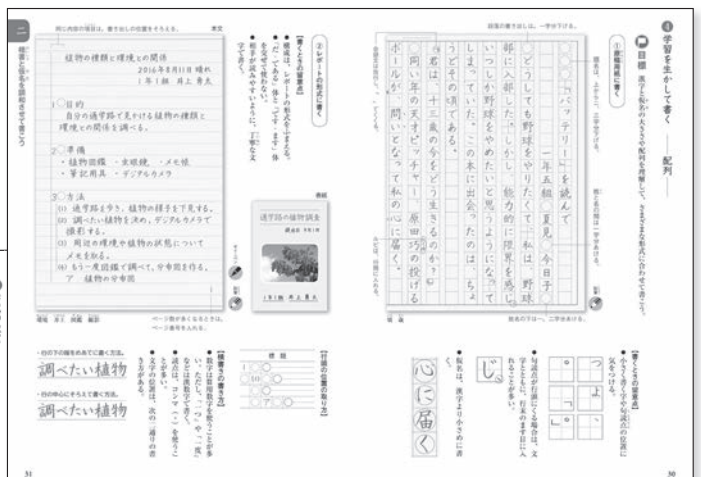
【教科書の対応ページ】

- 1年** p.24～25 『いろは歌』, p.26～27 『竹取物語』
p.64色紙, 短冊
- 2年** p.78～79 『いろは歌』, p.80～83色紙『論語』,
短冊『短歌』, p.88～89 『枕草子』
p.90～91 『平家物語』
- 3年** p.106～107 『おくのほそ道』

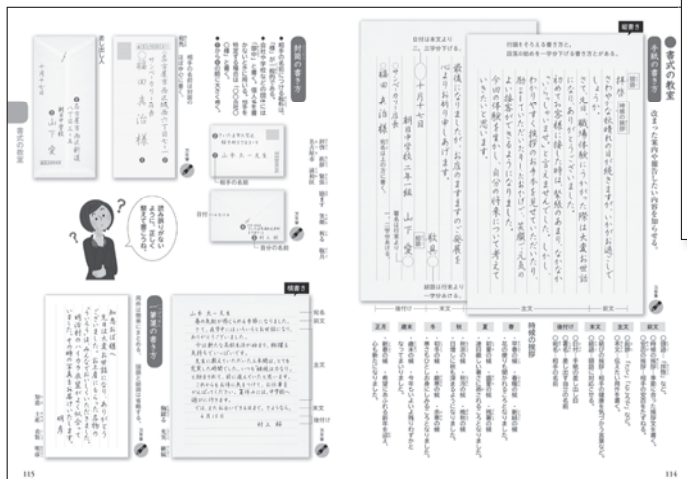
③日常生活に生きてはたらく書写力を育成する。

1年生では、さまざまな学習活動や社会生活に生かせるように、書写の学習内容に沿った礼状や原稿用紙、レポート、掲示物、新聞など豊富な教材を掲載しています。

2年生では、新聞、掲示物、案内状などの例を「学習を生かして書く」の中で取り扱っています。巻末には「書式の教室」として、社会生活に必要な手紙、封書、包み紙、エアメール、原稿用紙、伝票などの書き方を取り扱い、主体的に社会の形成に参画する力を養うことができました。



▲1年 p.30～31 「④学習を生かして書く」



▲全編 p.114～115 「書式の教室」

【教科書の対応ページ】

- 1年** p.30～33 (原稿用紙, レポート, 礼状)
p.36～37 (掲示物, 新聞)
p.54～55 (年賀状)
- 2年** p.96～99 (新聞, 掲示物, 案内状)
- 全編** p.114～119 (「書式の教室」)

2. 編修の基本方針

本書は、教育基本法第二条に示す教育の目標および学習指導要領の目標を達成するために、以下のような方針で編修しました。

1 基礎・基本を確実に習得し、確実な定着を図る。

「姿勢や持ち方」「基本点画の筆使い」「行書の基本的な書き方」「効果的な文字の書き方」などの書写学習の基礎・基本を習得することで、生徒が将来にわたって幅広い知識と教養を身につけるとともに「生きる力」を培えるように配慮しました。

2 日常生活に生きてはたらく書写力を育成し、学習効果を活用していこうとする意欲を育てる。

日常生活や学習活動における「生きてはたらく確かな書写力」が育成できるように教材構成をしています。主体的に社会の形成者として寄与する態度を養えるよう配慮しました。

また、「学習を生かして書く」「学習活動や日常生活に生かして書こう」「書式の教室」では、他教科の学習活動や日常生活との関連に配慮しました。

3 書写学習をとおして思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習していくことができる学習者の育成。

学習過程を明確にすることで、学習者が自ら考え、主体的に学んでいく力を養うことができるように教材内容を工夫しています。教材の言葉として、自他を尊重することや、人権に配慮すること、自然を大切にすること、伝統と文化を尊重する態度を養うことに配慮しました。

3. 対照表

図書の内容・構成と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

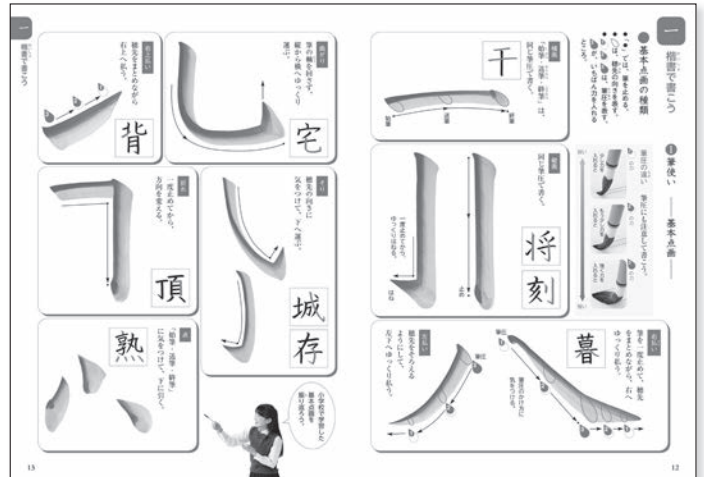
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>第一学年</p> <p>一 楷書で書こう</p> <p>二 楷書と仮名を調和させて書こう</p> <p>三 行書で書いてみよう</p> <p>書き初めを書く</p> <p>四 一年間のまとめ</p> <p>第二学年</p> <p>一 行書で書こう</p> <p>二 行書と仮名を調和させて書いてみよう</p> <p>書き初めを書く</p> <p>第三学年</p> <p>一 行書を深めよう</p> <p>二 行書と仮名を調和させて書こう</p> <p>書き初めを書く</p>	<p>○書写学習の基礎・基本を習得することで、幅広い、知識と教養を身につけられるよう配慮しました。〈第1号〉</p> <p>○学習過程を明確にすることで、生徒が意欲的、主体的に学習できるよう配慮し、学習の能力を高められるよう配慮しました。〈第2号〉</p> <p>○確かな書く力を養うことにより、主体的に社会の形成者として寄与する態度を養えるよう配慮しました。〈第3号〉</p> <p>○教材の生徒名、キャラクターの役割、比率は、男女の平等に配慮しました。〈第3号〉</p> <p>○教材の言葉は、生命を尊ぶ心の育成や、自然、環境を意識できるよう配慮しました。〈第4条〉</p> <p>○古典教材を取り扱うことで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することに配慮しました。〈第5条〉</p> <p>○「課題選択教材」を用いることで、自らが課題を設定し、解決に向けて取り組めるよう配慮しました。〈第2号〉</p>	<p>(全般)</p> <p>p.12～19</p> <p>p.22～53</p> <p>p.57～60</p> <p>p.61～62</p> <p>p.68～75</p> <p>p.76～79</p> <p>p.133～136</p> <p>p.102～103</p> <p>p.104～105</p> <p>p.137～140</p> <p>p.61～62</p> <p>p.110～113</p>
<p>第一学年</p> <p>二 楷書と仮名を調和させて書こう</p> <p>第二学年</p> <p>二 行書と仮名を調和させて書いてみよう</p> <p>三 学習活動や日常生活に生かして書こう</p> <p>第三学年</p> <p>三 身のまわりの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書こう</p> <p>コラム、資料等</p>	<p>○書写で習得した能力を他の学習や社会生活に活用できるよう配慮し、掲示物（ポスター）や新聞、礼状、案内文などを取り上げております。〈第3号〉</p> <p>○教材の生徒名、キャラクターの役割、比率は、男女の平等に配慮しました。〈第3号〉</p> <p>○教材の語句例、文例は、生命の尊重、環境の保全を促すよう配慮しました。〈第4号〉</p> <p>○筆・墨・硯・紙の作り方、生産地を知ることにより、日本の文化への関心が高まるよう配慮しました。〈第5号〉</p> <p>○日本の文字の歴史を取り扱うことにより、我が国の伝統と文化を尊重できるよう配慮しました。〈第5号〉</p> <p>○長らく伝わってきた日本の文字を鑑賞することにより、伝統と文化を尊重できるよう配慮しました。〈第5号〉</p> <p>○学習してきた書写の力が社会の中でどのように活用されているかを知ることにより、社会の形成に参画する意欲を促すよう配慮しました。〈第3号〉</p>	<p>(全般)</p> <p>p.30～37</p> <p>p.54～55</p> <p>p.80～100</p> <p>p.108～113</p> <p>p.20～21</p> <p>p.38～39</p> <p>p.34～35</p> <p>p.66～67</p> <p>p.84～85</p> <p>p.56, 100</p>

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本教科書は、教育基本法に示された義務教育の目的や、学校教育法に示された義務教育の目標などを達成するために、特に以下の点に意を用いて編修しています。

☆特色1 小学校書写との関連を大切にしています。(小・中関連)

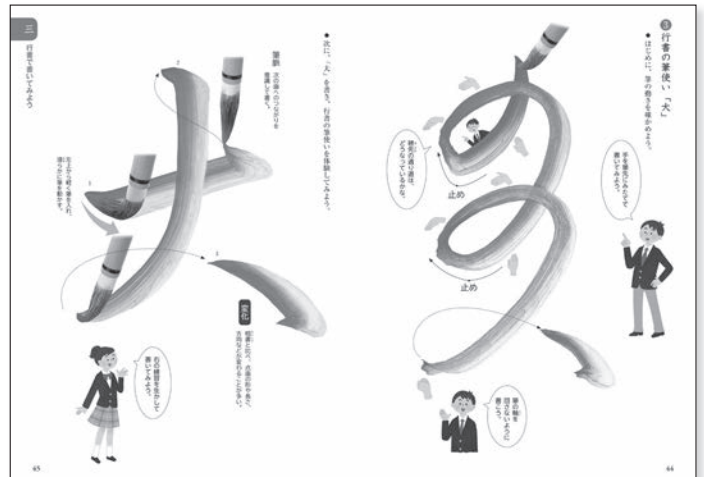
小学校で学習してきた「基本点画」「筆圧」「穂先の動き」などの学習は、第1学年の最初で復習できるようにしています。



▲1年 p.12~13 「①筆使い — 基本点画 —」

☆特色2 鮮明な図版と詳しい解説により毛筆学習をサポートします。

中学校で初めて学習する行書は、行書学習特有の穂先の動きや筆の運びがわかりやすいように、二色の薄墨による解説図版を掲載しています。



▲1年 p.44~45 「③行書の筆使い「大」」

☆特色3 学びのユニバーサルデザインの実現と環境への配慮

○カラーユニバーサルデザインや特別支援教育への対応……色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。カラーユニバーサルデザイン (CUD) は第三者機関による審査及び認証を受けています。

○環境への配慮……教科書の印刷にはグリーン電力を使用し、地球環境への影響を少なくするように配慮しています。また、再生紙と植物油インキを使用しています。



▲1年 p.49 「栄光」



解説図版は、全ての生徒にとって学びやすいよう配色やレイアウトに工夫をしています。

▶1年 p.18 「③学習を生かして書く — 字形・筆順 —」

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-1	中学校	国語科	書 写	第1・2・3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 ―― 教出	書写 734	中 学 書 写		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 基本方針

実際の学習活動をとおして、書写の基礎・基本の確実な定着を図るとともに、学習したことをさまざまな場面で活用していく中で、書写を学習する意義や楽しさが感じられるように、以下のような方針のもと編集にあたりました。

- ① 基礎・基本を徹底し、確実な定着を図ります。
- ② 学習や社会生活に活用できる力を養います。
- ③ 自らが考え、主体的に学習できる力を養います。

2 本書の特色

構成の特色

本書は、書写学習の基礎・基本をおさえ、確実に書く力を養い、学習や社会生活に活用できる力を養います。

また、学習内容や手順を明確にすることで、生徒が意欲的、主体的に学習できるようにしました。

○学習の見通しがもてる教科書

既習の学習を振り返りやすく、巻末の資料を学年で共通して使用することができ、また、系統的に学びやすく学習に見通しがもてるように配慮しました。

○行書教材に「なぞり書き」を新設

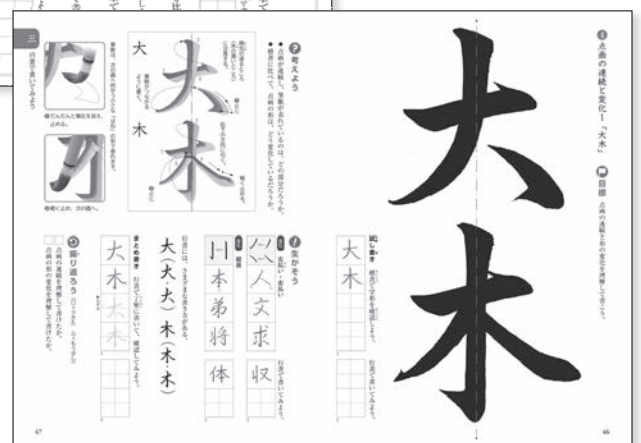
学習の段階を設定することで、書くことの基礎・基本が定着します。

基礎・基本の習得場面



◀p.8 「学習の進め方」

▼1年 p.46～47 「大木」



内容の特色

① 小学校との関連を大切にしています。

(小・中関連)

小学校で学習する「基本点画」「筆圧」「穂先の動き」などの学習は、1年生の第一教材で復習できるようにしています。

② 鮮明な写真図版と詳しい解説により毛筆学習をサポートします。

中学校で初めて学習する行書は、行書特有の穂先の動きや筆の運びがわかりやすいように、二色の薄墨による解説図版を掲載しています。

教材の書風は、硬筆・毛筆ともに自然な筆使いで、中学生にとってふさわしく、学びやすい書風です。硬毛関連学習にも十分配慮して、執筆しています。

③ 国語と関連した授業計画が可能で

各学年の硬筆教材は、国語との関連をいっそう緊密にし、文学作品や古典などから取材しています。また、学習を深める観点から小説家や詩人などの自筆の文字を扱っています。

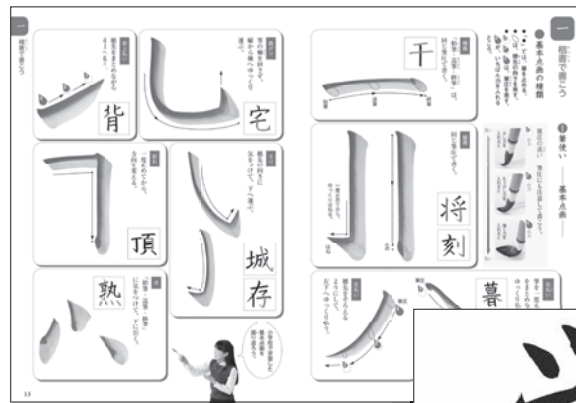
我が国の文字文化の関連から、平仮名のもとになった漢字(字源)について取り上げています。

行書学習を習得、活用しやすいように、巻末には、小学校で学習した1,006字の漢字、ならびに中学校で学習する1,130字の漢字を、いずれも手書きによる行書で示しています。

その他、筆順は、文部省著作「筆順指導の手引き」(昭和三十三年)を基準としています。

なお、小学校配当漢字以外の常用漢字などについては、適宜その筆順を示すよう配慮しています。

▼1年 p.12~13 ①筆使い—基本点画—



▶1年 p.48「栄光」



【教科書の対応ページ】

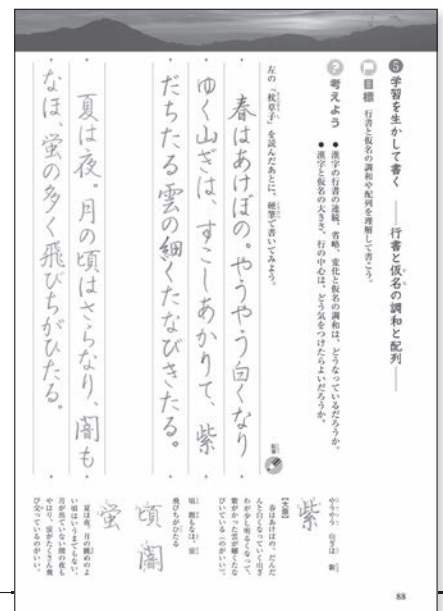
1年 p.12~13 ①筆使い—基本点画—

p.16「天地」 p.23「いろは歌」 p.44~45③行書の筆使い「大」
p.47「大木」 p.49「栄光」 p.51「平和」 p.61「広がる世界」
p.62「理想」

2年 p.69「初志」 p.71「雲海」 p.73「開花」 p.77「喜びの声」

3年 p.103「創造」 p.105「旅立ちの朝」 「」内は毛筆教材名

▶2年 p.88~89
『枕草子』



【教科書の対応ページ】

1年 p.10~11 詩「ふしぎ」金子みすゞ p.26~27『竹取物語』
p.34~35「文字は残る」 p.64短歌、俳句

2年 p.80『論語』孔子の言葉 p.82~83短歌 p.86~87『走れメロス』
p.88~89『枕草子』 p.90~91『平家物語』

3年 p.106~107『おくのほそ道』 p.122 詩「道程」高村光太郎

「」内は教材名

④ 書写学習で習得した能力を、他の教科の学習や社会生活に活用する力を養います。

1年生では、さまざまな学習活動や社会生活に生かせるようにテーマに沿ったポスター、新聞、礼状など、豊富な教材を掲載しています。

また、2年生では、案内文、報告文、掲示物などの言語活動例を「どのように書くと読みやすく相手に伝わるか」について取材しています。

3年生では、身のまわりの多様な文字を「①多様な表現による文字」で習得し、それを「②三年間の学習の成果を生かそう」で活用する構成になっています。



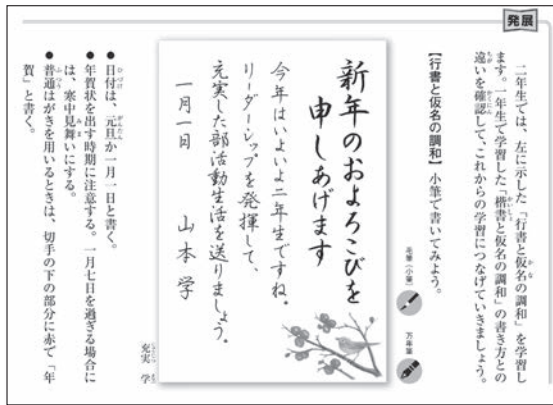
◀ 1年 p.28～29 「文字で心を伝えよう1」

【教科書の対応ページ】

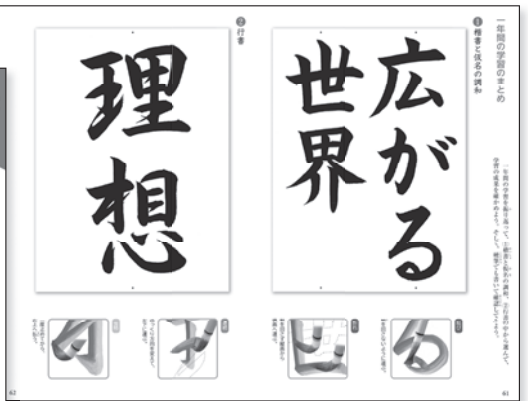
- 1年** p.28～29 「文字で心を伝えよう1」
p.30～33 原稿用紙、レポート、手紙
p.36～37 掲示物（ポスター）、新聞 p.54～55年賀状
- 2年** p.92～93 「①さまざまな書く場面」
p.94～95 「文字で心を伝えよう2」
p.96～99 新聞、掲示物（ポスター）、案内状
- 3年** p.108～109 「①多様な表現による文字」
p.110～113 「②三年間の学習の成果を生かそう」
- 全編** p.114～119 手紙、封筒、一筆箋、はがき、往復はがき、包み紙、エアメール、原稿用紙、国語のノート、メモ、志願理由書、小包の伝票

⑤ 「個」に応じた学習にも対応しています。

生徒が興味をもって取り組み、生徒自身が主体的に学習し、深めていくことができるように、1年生、3年生では「選択課題」教材を設けています。また、一人一人の習熟度、課題に合わせて教材を選び、学習を主体的に進めることができるよう、「補充教材集1」には4教材の、「補充教材集2」には7教材の毛筆教材を設けています。「個」に応じた学習にも対応できるよう、「発展」教材を各学年に設けています。



▲ 発展教材 1年 p.54 「行書と仮名の調和」



▲ 選択課題教材 1年 p.61～62 一年間の学習のまとめ

◀ 補充教材集1 1年 p.63 「出発」「名作」「永遠」「伝統文化」

【教科書の対応ページ】

○ 選択課題教材

- 1年** p.61～62 一年間の学習のまとめ ①楷書と仮名の調和「広がる世界」 ②行書「理想」
- 3年** p.110～113 ②三年間の学習の成果を生かそう

○ 補充教材集

- 補充教材集1** p.63 「出発」「名作」「永遠」「伝統文化」
- 補充教材集2** p.120～121 「実現」「古典に学ぶ」「自然」「銀河」「有終完美」「輝く未来」「よい言葉の一つは多くの本の一冊に勝る」

○ 発展教材

- 1年** p.54 「行書と仮名の調和」 **2年** p.79 「気持ちのつながりから文字のつながりへ」 p.84～85 「日本建築と「書」」
- 3年** p.105 「王羲之の書」 裏表紙 「芸術としての書道」

⑥ 学習者の文字への興味・関心を高めるよう工夫しています。

本書では、学習者の文字への興味・関心を高めるために、古くから伝わる伝統的な文字を取り上げています。1年生では、書写の題材や素材に防災・環境への取り組みをしています。また、1、2年生では、キャリア教育についても取り扱っています。3年生では、高校への円滑な接続を図るために「芸術としての書道」を設けています。

▶ **防災・環境教育** 1年 p.32~33 「③手紙を書く」

▶ **キャリア教育**
2年 p.100
「社会で生きる文字」



▲ **高校への接続**
全編 「芸術としての書道」

▶ **文字文化** 1年 p.20~21
「筆、墨、硯、紙について知ろう」

【教科書の対応ページ】	
○防災・環境教育	○高校への接続
1年 p.32~33 「③手紙を書く」	全編 「芸術としての書道」
2年 p.98 「②掲示物（ポスター）に案内を書く」	○文字文化
3年 p.109 「身のまわりの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書こう」	1年 p.20~21 「筆、墨、硯、紙について知ろう」
○キャリア教育	p.38~39 「文字の変遷」 p.40 「①行書学習のはじめに」
1年 p.56 「暮らしの文字を支える人々」	2年 p.66~67 「あの人が残した文字」
2年 p.100 「社会で生きる文字」	p.84~85 「日本建築と「書」」

☆ 学びのユニバーサルデザインの実現と環境への配慮

カラーユニバーサルデザインや特別支援教育への対応

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。カラーユニバーサルデザイン（CUD）は第三者機関による審査及び認証を受けています。

環境への配慮

教科書の印刷にはグリーン電力を使用し、地球環境への影響を少なくするように配慮しています。また、再生紙と植物油インキを使用しています。

2. 対照表

1年生用(20時間)

教科書の単元配列	配当 時数	学習指導要領 の内容	ページ
<input type="checkbox"/> 目的に合わせて書こう	適時	ア, イ	①～2
<input type="checkbox"/> 姿勢と用具の使い方	適時	ア, イ	3～5
目次	適時	ア, イ	6・7
<input type="checkbox"/> 学習の進め方, 書写学習の構図	適時	ア, イ	8
目次 第一学年	適時	ア, イ	9
詩「ふしぎ」 金子みすゞ	適時	ア	10・11
一 楷書で書こう	[4]		
①筆使い—基本点画—		ア	12・13
②筆使いと字形「天地」		ア	14～17
③学習を生かして書く—一字形・筆順—		ア	18・19
<input type="checkbox"/> 筆, 墨, 硯, 紙について知ろう	適時	ア, イ	20・21
二 楷書と仮名を調和させて書こう	[4]		
①筆脈「いろは歌」		ア	22・23
②楷書に調和する仮名「いろは歌」		ア	24・25
③学習を生かして書く—行の中心— 『竹取物語』		ア	26・27
<input type="checkbox"/> 文字で心を伝えよう 1	適時	ア	28・29
④学習を生かして書く—配列—			
①原稿用紙に書く		ア	30
②レポートの形式に書く		ア	31
③手紙を書く		ア	32・33
<input type="checkbox"/> 文字は残る	適時	ア, イ	34・35
⑤学校生活に生かして書く		ア	36・37
<input type="checkbox"/> 文字の変遷	適時	ア, イ	38・39
三 行書で書いてみよう	[9]		
①行書学習のはじめに		イ	40・41
②楷書と行書の違い「和」		イ	42・43
③行書の筆使い「大」		イ	44・45
④点画の連続と変化1「大木」		イ	46・47
⑤点画の連続と変化2「栄光」		イ	48・49
⑥点画の連続と省略「平和」		イ	50・51
⑦学習を生かして書く—行書の特徴—		イ	52・53
⑧学習を生かして書く—配列—		イ	54・55
①年賀状を書く			
<input type="checkbox"/> 暮らしの文字を支える人々	適時	ア, イ	56
<input type="checkbox"/> 書き初めを書く 「新たな決意」「天地清新」	[3]	ア, イ	57～60
<input type="checkbox"/> 一年間の学習のまとめ	適時	ア, イ	61・62
<input type="checkbox"/> 補充教材集 1	適時	ア, イ	63・64

学習指導要領の内容は、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の書写に関する事項の(2)。

2年生用(20時間)

教科書の単元配列	配当 時数	学習指導要領 の内容	ページ
目次 第二学年	適時	ア, イ	65
<input type="checkbox"/> あの人が残した文字	適時	ア, イ	66・67
一 行書で書こう	[6]		
①点画の連続と省略1「初志」		イ	68・69
②点画の連続と省略2「雲海」		イ	70・71
③点画の省略と筆順の変化「開花」		イ	72・73
④学習を生かして書く—行書の特徴—		イ	74・75
二 行書と仮名を調和させて書いてみよう	[7]		
①行書と仮名の調和「喜びの声」		ア	76・77
②行書に調和する仮名「いろは歌」		ア	78・79
③文字の大きさと配列		ア	80～83
<input type="checkbox"/> 日本建築と「書」	適時	ア, イ	84・85
④書く速さを意識して書く「走れメロス」		ア	86・87
⑤学習を生かして書く—行書と仮名の調和と配列— 『枕草子』『平家物語』		ア	88～91
三 学習活動や日常生活に生かして書こう	[4]		
①さまざまな書く場面		ア, イ	92・93
<input type="checkbox"/> 文字で心を伝えよう 2		ア, イ	94・95
②学習を生かして書く			
①新聞を書く		ア, イ	96・97
②掲示物(ポスター)に案内を書く		ア, イ	98
③案内状を書く		ア, イ	99
<input type="checkbox"/> 社会で生きる文字	適時	ア, イ	100
<input type="checkbox"/> 書き初めを書く 「夢を信じる」「功を奏する」	[3]	ア	133～136

3年生用(10時間)

教科書の単元配列	配当 時数	学習指導要領 の内容	ページ
目次 第三学年	適時	ア	101
一 行書を深めよう	[2]		
①点画の変化と連続「創造」		ア	102・103
二 行書と仮名を調和させて書こう	[3]		
①行書と仮名の調和「旅立ちの朝」		ア	104・105
②学習を生かして書く—配列— 『おくのほそ道』		ア	106・107
三 身のまわりの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書こう	[2]		
①多様な表現による文字		ア	108・109
②三年間の学習の成果を生かさそう		ア	110～113
<input type="checkbox"/> 書き初めを書く 「友好の精神」「新春に誓う」	[3]	ア	137～140
<input type="checkbox"/> 書式の教室	適時	ア	114～119
<input type="checkbox"/> 補充教材集 2	適時	ア	120・121
詩「道程」 高村光太郎	適時	ア	122
<input type="checkbox"/> 小学校で学習した漢字一覧表(行書)	適時	ア	123～127
<input type="checkbox"/> 中学校で学習する漢字一覧表(行書)	適時	ア	128～132
<input type="checkbox"/> 芸術としての書道	適時	ア	②

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-1	中学校	国語科	書 写	第1・2・3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 ―― 教出	書写 734	中 学 書 写		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項
54	行書と仮名の調和 二年生では、左に示した「行書と仮名の調和」を学習します。一年生で学習した「楷書と仮名の調和」の書き方との違いを確認して、これからの学習につなげていきましょう。	1	第1学年 ア 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。
79	気持ちのつながりから文字のつながりへ	2	第2学年 ア 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。
84～85	日本建築と「書」	2	第2学年 ア 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。
105	これは中国の書聖といわれた王羲之(三〇七～三六五)の書から集めた文字です。参考にして書いてみましょう。	2	第3学年 ア 身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くこと。
裏表紙	芸術としての書道	2	第3学年 ア 身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くこと。

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 6)

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容